

株式会社ケアネット 第14期 定時株主総会

2009年6月22日

医学に、もっと「ワクワク」を!

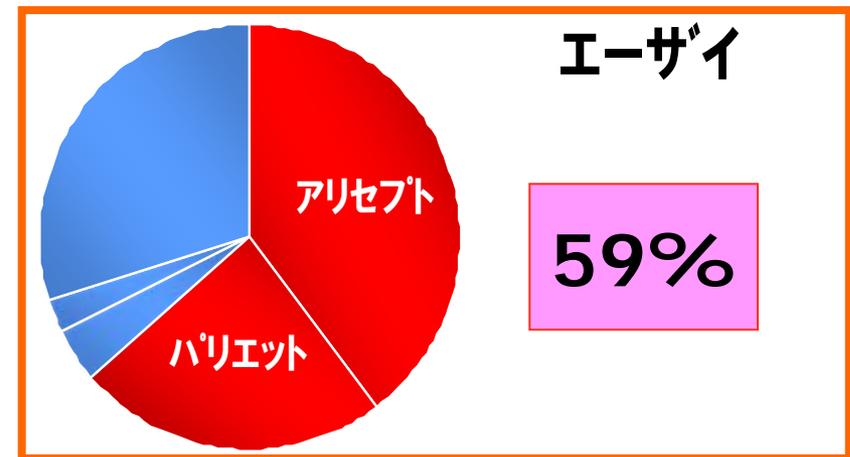
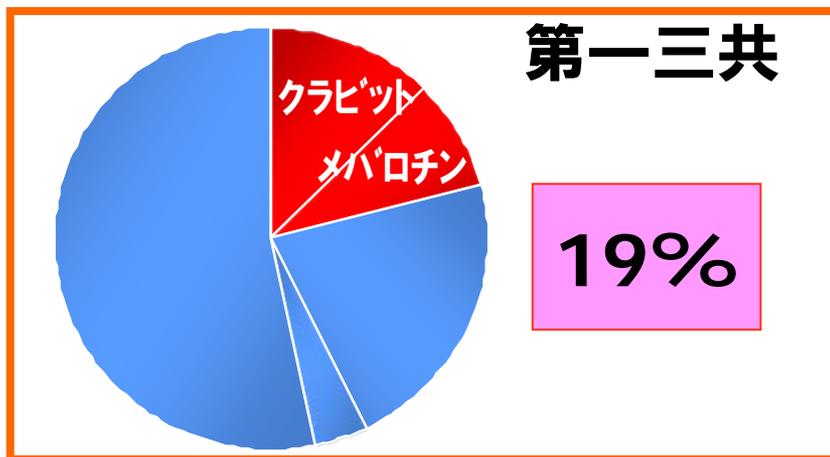
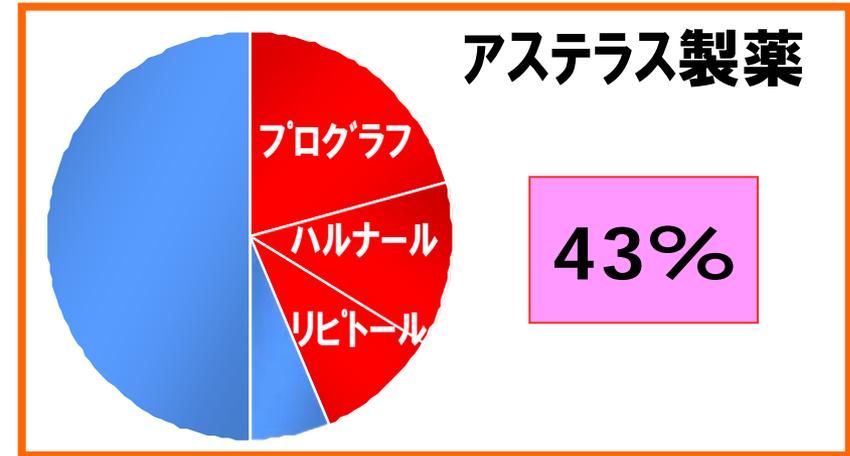
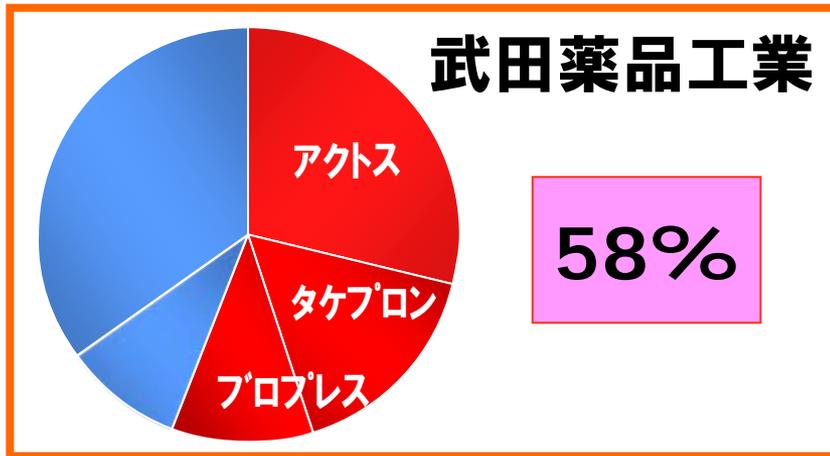


本日の進行スケジュール

1. 出席状況の報告
2. 監査報告
3. 第14期事業報告
4. 「決議事項」の上程
5. 質疑応答と採決

2010年問題：製薬企業の収益を圧迫

今後5年以内に米国特許が切れる製品の売上構成



出所：2009年3月期決算発表 野村証券アナリストレポート

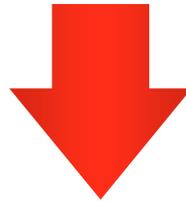
当社に対する事業環境の影響

製薬企業の コスト構造



売上の減少

- ・後発品の登場
- ・経済環境 (海外)



増加傾向



短期

- ・予算カット
 - 価格低下
 - プロジェクト遅延

中期

- ・販促方法の見直し
= 事業機会
- ・コストを抑制しつつ、
売上を増やせる、
「検証可能な」
販促手段に対する
ニーズが強まった

サービス開発の大きな方向性

当社サービスの課題

eディテリング®は高価格、
単発プロジェクトが多い

- ・ より低価格、継続的へのニーズも大きい

営業活動を完全代替する
までのサービス開発はできて
いない

- ・ 販促予算の獲得に終始
- ・ MR予算の獲得には至っていない

サービス開発の方向性

サービスの多様化をもって年
間契約、複数年契約を獲得

- ・ MRPlus®ラインナップ増
- ・ レジストリーステーション®

継続配信のインフラ構築

- ・ ケアネット・ドットコム投資

MR完全代替サービスの開発

- ・ 葦の会と共同開発

経営課題と進捗状況

経営課題

営業支援サービスの多様化

ケアネット・ドットコム強化

マルチクライアント型データ販売
に調査の軸足をシフト

医師以外へコンテンツ販売
団体へのチャネル拡大

法に要請される内部統制
の整備

進捗状況

- ・レジストリーステーション®を開発、発売
- ・葦の会（卸）と業務・資本提携

- ・09年度リニューアルへ体制強化
- ・新サービス投入
- ・Web経由会員獲得増

- ・OncoJを開発、発売
- ・拡販はこれから

- ・団体向けチャネルを開拓
- ・成果は限定的

- ・整備・運用開始、有効に機能
（監査法人からも同様の評価）

14期実績：損益計算書要約（百万円、％）

	第13期	第14期	増減額	増減率
売上高	2,617	2,649	32	+1.2
営業費用	2,216	2,436	220	+9.9
営業利益	401	213	▲188	-46.8
営業外損益	▲12	6	18	
経常利益	389	219	▲170	-43.6
特別損益・税	172	▲139	▲311	
当期純利益	561	80	▲481	-85.6

商品別売上計画 対 実績（百万円）

	計画	実績	差額	理由
医薬営業支援	1,776	1,756	▲19	
eディテリング®	1,370	987	▲382	クライアント予算縮小
レジストリー ステーション®	33	374	341	早期立ち上がり
その他	373	395	22	低価格品への流れ
マーケティング調査	637	449	▲187	競争激化、発注減少
TV/DVD	502	441	▲60	団体向け販売の遅れ
合計	2,916	2,649	▲267	

14期実績：貸借対照表要約（百万円、％）

	第13期	第14期	増減額	増減率
流動資産	2,619	2,563	▲56	-2
固定資産	213	307	94	+44
資産合計	2,832	2,870	38	+1
負債合計	313	413	100	+32
資本金	587	587	0	+0
資本剰余金	892	892	0	+0
利益剰余金	1,038	975	▲63	-6
純資産合計	2,519	2,457	▲62	-2
負債・純資産合計	2,832	2,870	38	+1

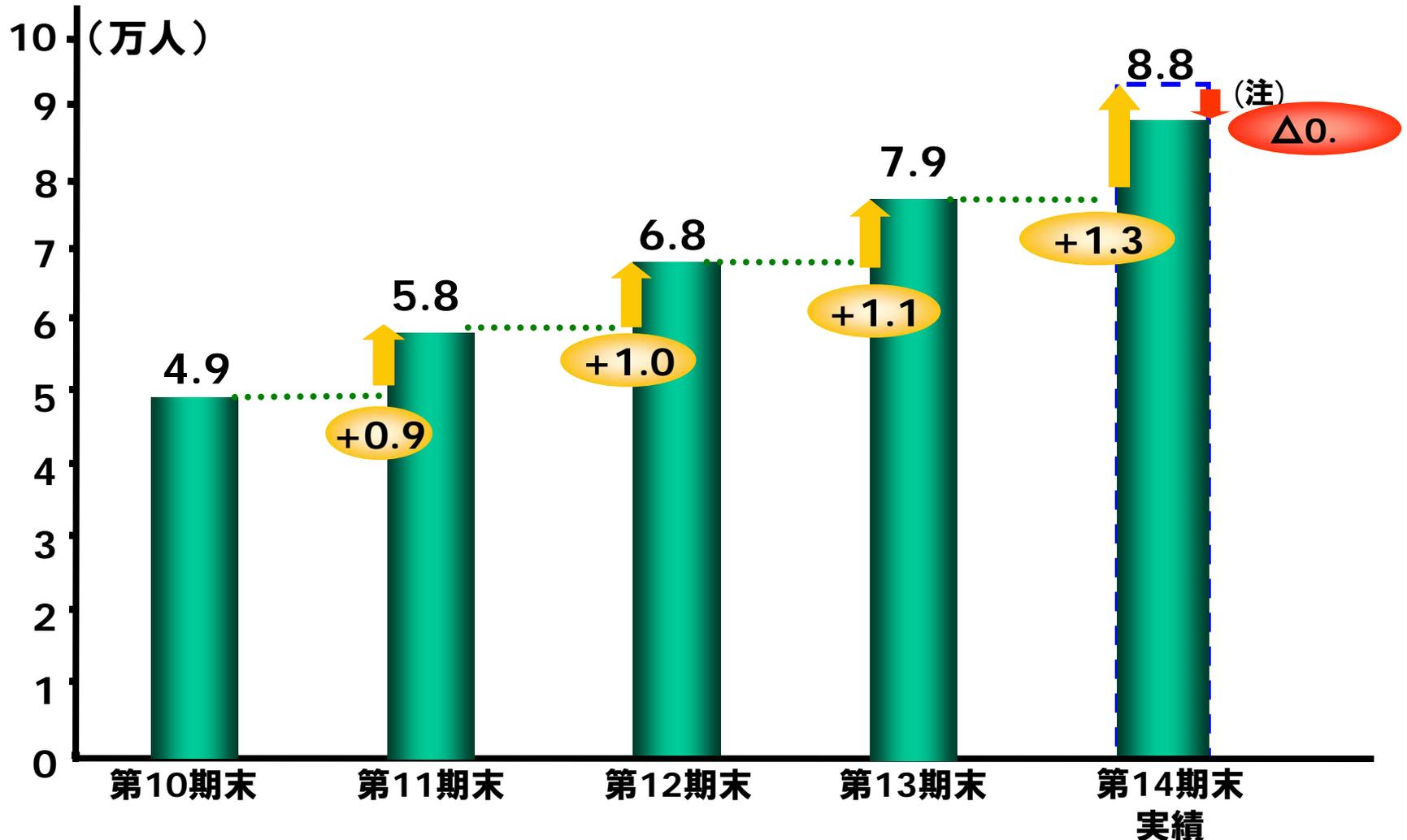
資産と負債の増減理由（百万円）

	増減額 (当期－前期)	主な内訳
流動資産	▲56	<ul style="list-style-type: none"> 繰延税金資産の評価替え ▲107百万円 3月度売上増による売掛金増 +65百万円
固定資産	94	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア投資 +84百万円
負債合計	100	<ul style="list-style-type: none"> 3月度売上増に伴う買掛金増 +40百万円 ソフトウェア投資等の未払分 +54百万円
純資産合計	▲62	<ul style="list-style-type: none"> 当期純利益 +80百万円と昨年度利益に対する配当金▲143百万円の差額

14期実績：キャッシュフロー計算書要約（百万円）

	第13期	第14期
税引後利益＋減価償却費	429	238
売上債権の増減	▲78	▲65
支払債務の増減	▲140	53
前払費用の増減＋その他	▲20	67
営業活動によるCF	189	293
定期預金預け入れ	▲450	-
ソフトウェア開発等	▲124	▲124
投資活動によるCF	▲574	▲124
上場時の資金調達	537	-
配当金等	▲131	▲137
財務活動によるCF	406	▲137
現金及び現金同等物の増加額	21	31

当社医師会員数の推移



(注) データベースの整備により、重複データ等3,798人分を削除

ドットコム投資の成果

	2008年 3～4月	2009年 3～4月
Web経由の医師会員獲得数	100	144
延べ訪問医師会員数	100	134
医師ページビュー数	100	142

(注) 2008年3～4月を100として算出

第1号議案： 剰余金処分の件

利益剰余金	975,749,758
その他資本剰余金	379,440,000
<hr/>	
合計	1,355,189,758円



利益配当金	57,363,900円
<hr/>	
内部留保（次期繰越）	1,297,825,858円

公表通り、1株当たり1,100円の配当を実施

第2号議案：定款一部変更の件

1. **株券電子化に伴う変更**
→ **第7条（株券の発行）の削除**
2. 「**株券等の保管及び振替に関する法律**」の
廃止に伴う「**実質株主**」に関する規定の削除
→ **第10条第3項の削除、第16条第1項の変更**
3. 「**株券喪失登録簿**」に関する附則の新設

第3号議案：取締役3名選任の件

現行

詫摩 直也
 藤井 寛治
 姜 琪鎬

廣瀬 光雄 (社外)
 宮本 巖 (社外)

本日以降 (候補者)

高橋 功 (新任)
 藤井 寛治 (重任)
 大野 元泰 (再任)

第3号議案：取締役3名選任の件

取締役候補者の略歴と役割（1）

高橋 功

昭和57年	4月	台糖ファイザー（現ファイザー）株式会社	入社 MR
平成 5年	12月	同社	マーケティング部
平成15年	12月	同社	マーケティング・リサーチ部門部長
平成18年	4月	当社	入社 執行役員
平成18年	10月	当社	執行役員事業開発部長
平成19年	7月	当社	執行役員医薬営業支援事業部長
平成21年	4月	当社	執行役員COO（現任）

代表取締役社長就任予定。製薬業界における幅広い経験を活かし、事業拡大を指揮する。

第3号議案：取締役3名選任の件

取締役候補者の略歴と役割（2）

藤井 寛治

平成 元年4月	住友化学工業（現住友化学）株式会社	入社
平成 7年6月	Sumitomo Chemical America, Inc.	に出向
平成 9年8月	当社	入社
平成10年6月	当社	常務取締役
平成12年4月	当社	代表取締役社長
平成13年4月	当社	代表取締役副社長
平成14年6月	当社	取締役副社長（現任）

管理部門を管掌し、リスクマネジメント面を中心に当社事業運営、事業開発を支援。

第3号議案：取締役3名選任の件

取締役候補者の略歴と役割（3）

大野 元泰

昭和61年4月	山一証券株式会社	入社
平成 2年1月	株式会社日本総合研究所	入所
平成 3年5月	ポストン・コンサルティング・グループ株式会社	入社
平成 7年4月	医療法人社団健育会	入社
平成 8年7月	当社 創業	代表取締役社長
平成15年7月	大野元泰事務所	代表（現任）
平成18年7月	株式会社葦の会	取締役（現任）

葦の会との提携事業の推進を支援。

**本日はありがとうございました。
引き続き変わらぬご支援よろしくお願いいたします。**

本書には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は一定の前提（当社が現在入手している情報や予測）を基に作成されており、その前提が不正確なものであったり、将来実現しないという可能性もございます。

また、当社以外の企業等に関わる情報については、公開情報等から引用したものであり、その情報の内容の正確性を当社が保証するものではありません。